



建設工学科

各種構造物の計画・設計・施工の知識と技術を学習

建設工学科では、1年生で共通専門科目を学習し、2年生からコース選択により建築コース、都市工学コースに分かれてそれぞれの専門科目を学習します。卒業時には設計や施工管理の業務に必要な技術と知識を身につけることができます。

将来の資格試験の受験資格を得ることができ、2級施工管理技術検定第一次検定を在学中に受験することができます。



挑戦できる資格

- 2級土木建築施工管理技術検定第一次検定
- 測量士補
- 建築 CAD検定
- 技能検定(建築大工)
- 危険物取扱者
- 小型車両系建設機械講習
- ドローン検定 他

実習内容

1年生(共通)

- 測量
- 木工
- コンピュータ

※2年次にコースを選択



建築コース

- 製図
- コンピュータによる製図
- 施工実習
- 造形実習
- 材料実習
- 計画実習
- 模型実習

都市工学コース

- 材料の実験
- 土質と水理の実験
- 測量実習
- コンピュータによる製図



電子科

組込システム(ソフトウェアによるハードウェアの制御)の知識と技術を学ぶ

電子科では、電気を利用する機器の仕組みや、それらを動作させる情報技術の基礎を学習します。第二種電気工事士、技能検定3級(電子機器組立て)、ITパスポートなど、資格取得に向けた学習にも、力を入れています。

工事担任者試験(通信回線に接続する端末設備の接続及び配線工事)は、国家試験の認定学科になっているため、卒業後は、受験科目の一部が免除となります。



挑戦できる資格

- 第二種電気工事士
- 技能検定3級(電子機器組立て)
- 工事担任者
- ITパスポート
- 危険物取扱者 他

実習内容

- 電子回路製作(テスター、音響増幅回路、ラジオ受信機)
- 電子計測
- 電気工事
- アームロボット制御
- シーケンス制御
- コンピュータ(Arduino制御、C言語)

